

みんなのみどり

大きな羽をゆらりゆらりと羽ばたかせ、優雅にゆったりと飛ぶ「オオゴマダラ蝶」
 このオオゴマダラは、昔与論島にも数多く見られましたが、
 一時期の乱獲によってその数を減らしました。
 ここでは、そのオオゴマダラを増やしていこうと様々な活動をしている
 NPO法人与論島ウンパル学校についてご紹介します。



NPO法人与論島ウンパル学校は、「オオゴマダラの再生」を合言葉に、緑化の啓蒙に取り組んでいます。
 これまで与論港コースタリゾートでヨロンマラソン完走記念植樹を第16回大会から実施してきました。
 活動の指針としているのは「バナウル王国の環境憲法」です。失われていく島の環境を再生し、より豊かな環境を創造するため、主に海岸植生に力を入れて活動しています。
 また、「ヨロンの海(サンゴ)



▲オオゴマダラの成虫
開長は13cmにも及ぶ



▲オオゴマダラの幼虫
白黒の縞模様、赤い斑点が特徴

の再生は、陸上の緑の再生」をテーマに、「国際サンゴ年」を記念して公益信託自然ボランティア活動にも取り組んで、助成金による植栽や苗木配布(蝶の食草ホウライカガミ)を行いました。
 お陰様で、数年前まで見られなくなっていたオオゴマダラが今は島内のあちろちろで飛んでいるのを見かけます。
 私たちは、蝶などの虫や鳥たち・植物など、「自然との共生」を目指した活動を今後も続けていきたいと思っています。



▲オオゴマダラの食草
(ホウライカガミ)



▲オオゴマダラのさなぎ
黄金に輝くさなぎが特徴的

皆さん、緑を大切に。一生のうちには5本の木を育てたものです。
 あなたの植えた一本の木が
 2本では 林
 3本では 森
 林と森が手をつないで
 森林に育つという。
 「与論町環境宣言」を実践するために、これからも町民皆様のご協力をお願いいたします。
 NPO法人与論島ウンパル学校
 理事 竹 盛窪

